

会 議 録

1 会議名

令和3年度 第6回諏訪区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 自主的審議事項

○ 二貫寺の森の活用について（公開）

- 1) 全体会議
- 2) グループ審議
- 3) 全体会議

3 開催日時

令和3年11月10日（水） 午後7時から午後8時30分まで

4 開催場所

諏訪地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：川上 俊一、川上 奈津子、川上 久雄（会長）、川室 光昭、西嶋 明子、
服部幸雄、星野 実、堀川 悦郎、山岸 愛、山田 勝也、山田 哲平（副
会長） （欠席1人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 上越市域自治区の設置に関する条例第8条1項の規定により、会長が議長を務

めることを報告

【川上会長】

- ・ 会議録の確認：川室委員に依頼

次第2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「1) 全体会議」に入る。

最初に「二貫寺の森の状況について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・ 説明

【川上会長】

10月17日に開催された健康ウォークでは、残念ながら最初は雨が降っていたが、途中で雨が上がってきたため有志 10 数人で歩いた。諏訪区地域協議会の中にも参加した委員がいた。

健康ウォークやその他で二貫寺の森を訪れた委員より感想をいただき、認識や意見を共有したい。順に発言願う。

【川上 奈津子委員】

健康ウォークは、当日の雨により全体のウォーキングが中止となってしまった。

飯田川沿いのウォーキングロードは、自然が多く整備もされている。もっとたくさんの人たちから歩いてほしい。

【堀川委員】

自分も健康ウォークに参加してウォーキングロードも歩いてみた。実際に歩いてみて、もっと多くの人たちからウォーキングロードを歩いてほしい、見てほしいと思った。

ただ、道に木の実が落ちているため滑りやすくなっている。そういったことの対策を考えていかなければいけない。また、大事な飯田川が全く見えない状況になっており、できることであれば川の様子等も見ることができるとよい。

整備に関しては、両脇を各町内の人たちがきれいにしていただいていたのだが、なかなか大変だと思うため、何か機械等を導入して年間に何回か草刈等を行うことができれば、もっとよくなるのではないか。

【川上会長】

次に川上 俊一委員より感想を願う。

【川上 俊一委員】

自分は周辺を歩いた。米町の三高橋までを往復し、残念ながら二貫寺の森までは行けなかった。

感じたこととして、昔、畑だったところが、今は藪のように大きな木が育っており、何年もしないうちに堤防辺りが森のようになってしまったのだと感じた。また、近隣住民によって整備されているため、歩くにはとてもよかった。一部、滑りやすい箇所もあったのだが、ある程度よかったと思う。

【川上会長】

次に山岸 愛委員より、10月17日の健康ウォークの感想を願う。

【山岸 愛委員】

思っていたよりも整備されており、歩きやすかった。普段はあまり歩いていない自分のような人でも、往復するには距離的にちょうどよかった。ただ、もう少し整備できるところは整備すれば、よりよくなると思った。歩いている途中で、クルミが落ちていたり、アケビがある等、山地ではない割に、結構見甲斐があった。

何があるのかが分かって歩くことができれば、より発見があると思うため、老若男女が楽しめる道になるような印象を受けた。

【川上会長】

自分も健康ウォークに参加した。二貫寺の森まで入ろうと思っていたのだが、雨が降ってきてしまったため入らなかった。

歩きながら話を聞いていたのだが、歩く距離としてはちょうどよいと思った。ウォーキングロードと二貫寺の森と絡めて活用したほうがよいのではないかといった話もあった。二貫寺の森だけでは距離的にも短いため、足りないようであれば飯田川もコースに組み込むことができれば、それなりの距離が取れる。

また、河川敷であり、以前は畑を行っていた人も多くいたのだが、現在はほとんどいない。そのため荒れ放題の状態なのだが、あの状態を整備することは難しいと思っている。

ウォーキングロードは、米岡・米町・上真砂町内の住民より協力いただき整備している。自分が行った際は、ちょうど草刈りがしてあったため歩きやすかった。

これまでは年に1回しか草刈りを行っておらず、秋になると草が相当伸びてしまうため歩きづらい環境となっていた。今回のように草刈りがされていれば歩きやすいため、年に2回から3回は草刈をしていただくことができれば、よいウォーキングコースになると思う。またその辺もお願いしていかなければならないと思った。

残念ながら二貫寺の森には入ることができなかったのだが、いろいろと協力いただき健康ウォークに参加することができたため、大変よかった。

他に何かあるか。

【西嶋委員】

11月6日に「わくわくウォッチング」という公民館講座があり、二貫寺の森の活動に参加してきた。

今回は設置されている鳥の巣箱を取り外す活動を行った。同行した講師より、巣箱を取り外す前に鳥の羽根を見せもらい、「この鳥の羽根は何か分かりますか」と聞かれ、皆で探すことになった。炭焼き釜のすぐ近くで、ほとんどの参加者がふわふわとした鳥の羽を見つけることができたのだが、実は二貫寺の森には鷹がおり、木の上で鳩を食べているとのことである。そして、その鳩の羽根が落ちているという話を聞かせてくれた。

多分、今までであれば、二貫寺の森で「鷹が鳩を食べる」ということはなかったのではないかとのお話をしており、森が豊かになった証拠だということをお話いただいた。巣箱を設置したことにより、いろいろな鳥が住みついているとのことであった。実際、ホオジロという鳥の鳴き声や、森の中にある「なんじゃもんじゃの池」でカモを見ることができ、歩きながら自然に触れる機会を持つことができ、すごくよかった。自分は何度も二貫寺の森に入っているのだが、天然のなめこを初めて見ることができて、びっくりした。

歩く道自体は、綺麗に草刈りもしてあったため、一応、皆長靴で行ったのだが、天気もよく大分歩きやすくなっていた。ただ、二貫寺の森の管理棟から「ともだちハウス」の広場に至るまでの区間が、グチャグチャで道が悪かった。車の轍のような箇所には水が溜まっていたため、そういったところを綺麗に整備することができれば、非常によいと思った。

当日の活動では、巣箱を取り外したあとに「バードコール」という、木にボルト

を埋めて回すと音が出るものを工作した。あとは炭焼き釜に切った竹を入れる活動を行い、皆、楽しむことができた。

【川上会長】

自分も以前に何度か「わくわくウォッチング」に参加したことがある。講師の先生の話が非常に分かりやすいため、子どもたちも目を輝かせて話を聞いていた。もう少し諏訪地区全体の人たちより、こういった活動に参加していただき、二貫寺の森のよさを分かってもらえることができればよいと思うが、まだ、なかなかそこまではできない状態だと思う。

また、今ほど話にあった「ともだちハウス」までの道は、おそらく、除草のための車が入るため、どうしても轍ができてしまうのだと思う。その辺はまた、何とか整備してもらえるようにしていかなければならない。

他に何かあるか。

【堀川委員】

西嶋委員に質問である。

活動に参加したのが11月とのことだが、蚊はいたか。

【西嶋委員】

いなかった。

【堀川委員】

話を聞いていて、鷹がいることにすごく驚いた。自分はこの周辺に鷹がいるとの話は聞いたことがなかったため、すごいと思った。

【川上会長】

他に何かあるか。

(発言なし)

まめに行くことができるとよいのだが、なかなか難しいと思う。季節を変えて行くことができるとよいと思う。

以上で「1) 全体会議」の「二貫寺の森の状況について」を終了する。

次に「関連団体との意見交換会について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・資料1に基づき説明

- ・資料 2、参考資料 1 に基づき説明
- ・資料 3、参考資料 2、資料 4 に基づき説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

前回の会議では、2 つのグループに分かれて審議を行った。最終的に出た意見として、関係する団体との話し合いや情報交換が必要ではないかといった話があったため、関係団体を調べ、意見交換会の開催を提案した。

今ほどの事務局の説明について、質疑を求める。

(発言なし)

では、資料 3 について、確認していく。意見交換会（素案）について、修正等、意見のある委員の発言を求める。

(発言なし)

特に、意見交換会のテーマは 1 番大事になってくる。資料 3 に基づき、開催準備を進めることとしてよいか。

(よしの声)

承認されたため、事務局は開催の調整を進めてほしい。

以上で「1) 全体会議」の「関連団体との意見交換会について」を終了する。

次に次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」の「2) グループ審議」に入る。「意見交換会の内容について」、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・説明

【川上会長】

今ほどの説明について質疑を求める。

(発言なし)

グループ審議に入る。

— グループ審議（約 40 分間） —

【川上会長】

会議を再開する。

「3) 全体会議」に入る。

最初に「活用方法検討グループ」より、本日の審議結果について報告願う。

【川上 俊一委員】

これまでリーダーと副リーダーが決まっていなかったが、リーダーは自分に、副リーダーは服部委員に決定した。

意見交換会については、思いついたことをどんどん話して、関係団体の意見も聞き出すことができればよいとの考えでまとまった。

次に、意見交換会をするにあたって、前もって聞いておきたいこととして2つの意見が出た。

1つ目は、蚊の対応についてである。どのように考えているかを確認したいと思っている。

2つ目に、歩道の整備についてである。現在、チップ等が敷かれているのだが、もっとできるのか等確認したいと思っている。

気軽に話し合いしながら、関係団体の意見を聞くことが大事ではないかとの意見にまとまった。

【川上会長】

次に「イベント開催検討グループ」より本日の審議結果について報告願う。

【川室委員】

環境整備について、各団体がどのように思っているか、現状のままでよいと思っているのか等、確認したいと思っている。

立場的には「二貫寺の森研究会」がアドバイザー、「二貫寺の森保全会」が受託者的な立ち位置だと思われるということで、各団体の思っている課題を挙げてもらい、それをさらにジャンル分けをして、次の話し合いに持っていければよいのではないか。

また、いろいろな団体があるのだが、連携がされていないこともあると思う。資料4にもあるように、地域協議会が中に入りながら、関係強化を図るような動きを取ることができる、さらによいのではないかとの意見があった。

いろいろな意見が出されたのだが、各団体の考えや各団体が持っているイメージ等を確認したいとの意見にまとまった。

【川上会長】

両グループの報告について、質疑を求める。

(発言なし)

素案の当日の流れとして、「意見交換」では、まず「各団体の活動について」を説明してもらおう。次に「テーマ(1)」「テーマ(2)」については、地域協議会より質問するかたちとするのか、または単純にフリートークとして、お互いの思っていることを言うほうがよいのか、判断が難しいところである。

だが、単純に地域協議会が質問したことに回答してもらおうといっても、なかなか面倒なところもあると思うため、正副会長と事務局で検討・調整をして、進め方について考えていきたいと思っている。

そういったことも含めて、何か意見等あるか。

【西嶋委員】

当日、集まるメンバーとして、地域協議会委員プラス、各団体より2人から3人程度の出席があった場合、本日の出席者以上に多くなるわけである。

意見交換をするに当たり、地域協議会の開催時のように大きな口の字に机を配置して意見を言うことは、非常にハードルが高いと思う。そのためグループ審議のように、いくつかグループを作って、その中で意見交換を行ったほうが、話はしやすいと思う。

自分であれば、少人数のグループのほうが話しやすいため、そのほうがよい。

【川上会長】

参加する人数にもよると思う。確かに、少人数のほうが話しやすいということはあると思う。そういったことも含めて、意見を聞いていきたいと思う。

事務局としても、参加する人数の確認作業はこれからのことになる。その参加人数によっても、変わってくると思っている。このような意見交換会はこれまで行ったことがないため、まるで情報がない。だが、必要なことだと思っており、個人的に楽しみにしている。

他に意見等あるか。

(発言なし)

では本日出た意見を踏まえ、正副会長と事務局で調整をして、どのようなかたち

とするのかを決定したいと思う。

その他、総合的に何かあるか。

【山岸 愛委員】

資料1の「これまでの主な検討内容」に、「蚊がいなくなった頃（10月下旬以降）に改めて現地確認を実施できればよい」との記載があるのだが、現地確認は結局、どうするのか。

つい先日、自分と西嶋委員は現地に行ったため、現状を理解できているところがある。また現地に行ったことにより、先ほどの轍のぬかるみの話ではないが、新しい課題等も見つけることができた。

だが、健康ウォークが雨で中止になったこともあり、多くの委員が今の二貫寺の森の状況を見ることができていない。関係団体より来てもらって話を聞くと言いながら、頭の中に何も浮かんでいないのでは、話を聞いても完全に理解することはできないように思う。

【川上会長】

確か、前回、そのような話をしたと思う。西嶋委員の発言にもあったように、道がぐちゃぐちゃだということは、現地を見てみなければ分からないこともある。頭の中でただイメージをするのではなく、実際に意見交換会までの間に、現地を見たほうがイメージしやすいのではないかとの意見であった。

【西嶋委員】

第2土曜日の11月13日の8時より、今年最後のウォーキングクラブがあったと思う。天候がよければ、森に入ることができる、今年最後のチャンスだと思う。

【川上会長】

その日は二貫寺の森に入る計画もあるのか。

【西嶋委員】

入る予定はない。周辺のウォーキングを予定している。

【川上会長】

ウォーキングのルートに入れていただいて、参加できる委員は参加してはどうか。新たに日程を決めることも大変であるため、参加できる委員は参加してはどうかと思う。

【西嶋委員】

11月13日土曜日の朝8時に諏訪地区公民館に集合である。

【堀川委員】

ルートには予定されていないのだが、変更するという事か。

【西嶋委員】

ウォーキングクラブは、その日に集まったメンバーで「今日はここに行く」とその場で気軽に決めてウォーキングをしている。

【堀川委員】

先日、河川敷をウォーキングした時は、天気がよければ二貫寺の森にも行きたいと思っていたのだが、生憎の天候となってしまう行くことができなかった。そのため、11月13日も天候が悪くなってしまうと、また二貫寺の森に入ることができないことになってしまう。

【西嶋委員】

それであれば、天候が悪くても、地域の人たちは雨具を持参して、長靴で参加するようにすればよい。

【川上会長】

天候を見て、天気がよい日に突然行うことは無理な話だと思う。それであれば、よい設定があるため、11月13日に参加するようにしてはどうか。その日がどうしても駄目だということであれば、改めて考えなければならない。正副会長と事務局で相談をして、決定することもできるのだがどうするか。

【星野委員】

自分は13日は参加できない。

【川上会長】

強制ではないため、参加できる委員より参加してもらいたい。13日に参加できない委員は、自主的に現地を見てもらうこととしたい。

ここまでくると、日程を決めて現地確認を実施することも難しくなってくる。11月13日に参加できる委員はウォーキングクラブに参加し、参加できない委員は各自時間を取って現地に足を運んでほしい。二貫寺の森の現状を見て、意見交換会では質問してもらえればよいと思う。

以上で次第 2 議題「(1) 自主的審議事項」の「二貫寺の森の活用について」を終了する。

最後に次第 3「その他」の「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

本日、確認した資料 3 については、素案であるため、協議をしていく中で変わってくる部分もあると思う。関係団体と調整をして、開催準備を進めていきたい。

準備があるため 12 月中の開催は難しいと思っており、来年 1 月に意見交換会を行う方向で進めていきたい。

なお、来年度の地域活動支援事業については、どのようになるのかまだ見えていない。仮の話であるが、審議が必要となれば、1 月等の会議にて次年度の提案募集や審査のルールについて協議したい。

【川上会長】

次回の開催日については、正副会長と事務局で調整のうえ決定したい。

➤ 次回の協議会：1 月開催（日程は別途調整）

➤ 会場：諏訪地区公民館 集会室

➤ 内容：自主的審議について

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690

E-mail:chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。